

ディレクトフォース

一日目の午前には新日鉄住金株式会社へ行った。私はそれまで新日鉄住金という会社を知らなかったが、鉄鋼関係の会社で日本トップ、世界でも屈指のメーカーだということを知った。以前までは鉄鋼関係と聞くと工場がたくさんあるというイメージしかなかった。しかしそれは違っていた。東京駅から歩いてすぐ、まさに大都市のど真ん中と言えるような場所にある。ビルの中に入るとまるでドラマの中の世界のような光景が広がっていて唖然としてしまった。会議室に入り、会社の紹介をされ、二高のOBの方の話を伺った。一流の企業とだけあって多くの苦勞をして今の職に就いているのだなと思った。

グループでの話し合い活動では、自分が今一番力を入れていることについて話し合った。私は自分の意見を人前で話すことはあまり得意ではないのでうまく話すことができなかった。やはり、社員の方は意見をまとめて話すことが上手で、さすがだと感じた。プレゼンをする機会はこれから必ず必要になってくると思うし、付けなければいけない力だと思うので頑張りたい。

ディレクトフォースを通して一流企業の中身を体験することができた。めったにない貴重な経験を無駄にしないようにしたい。

企業大学訪問

一日目の午後は、キリンの飲料技術研究所の工場を訪問した。私は将来の夢についてまだはっきりとは定まっていなかったが、食品関係の商品開発に興味を持っている。今回、キリンの代表的な商品の一つである紅茶の研究のなされている職員の方にお話を伺えることになった。建物の中に入ると事前に連絡をとっていた職員の方が出迎えてくれた。会議室に通され、研究をされているご本人を加えて二対二での質問が始まった。事前にしっかりと質問事項を考えていくことができたため、スムーズに質問を続けることができた。とくに印象に残っているのが、研究をする際に気をつけなければならないことは何かと聞いた時だ。

「小さな変化を見逃さないことです。また、思っていた結果と違っていたとしてもそこからまた新しいことが発見でき、成果につなげることができます。」

と答えてくれた。それを聞いて私は研究職には常に観察する忍耐力、臨機応変に考察する力が必要なのだと感じた。研究は失敗も多いだろうし、大変な面もたくさんあると思うが、失敗からたくさんの発見ができ、おもしろいような成果が得られたときはとてもうれしいと思う。現在キリンメーカーでは紅茶でトクホが取れるように研究しているそうだ。

研究が成功したらぜひ購入してみたいと思う。

また、「こだわり素材の〇〇ティー」というシリーズの新商品も間もなく発売されるそうだ。もともと好んで飲んでいたのでこれもぜひ飲んでみたい。一通り質問が終わると次に様々な種類の紅茶の香りと試飲をさせていただいた。ダーズリン・ディンブラ・ウバ・ラブサンスーチョンの四種類を飲み比べしてみた。茶葉の香りや特徴によって、例えばディンブラはストレートティーに、ウバはミルクティーになどと使い分けしているそうだ。私はそれぞれの違いはなんとなくしか汲み取れなかったが、研究をしている人はほぼ毎日といっていいほど試飲を続けているのではっきりわかるのだと聞いて、本職のひとはやはり違うと思った。また、マスカットのようなさっぱりしたディンブラにはマスカット、スモーキーな風味の強いラブサンスーチョンにはピーナツクリームを塗ったクラッカーといったそれぞれの紅茶にあった食べ物も提案して食べさせてくれた。お土産としてクラッカーと紅茶二本もいただいた。

この企業訪問も、本当に貴重な経験で、有意義な時間を過ごすことができたと思う。研究職についてや高校生の今やるべきことについてのアドバイスもいただけて、将来を予考える一つのきっかけになったのでよかったと思う。

東大生との交流

一日目の夜は二高OB・OGの方々と一緒に会食をしながらいろいろな話を聞かせてもらった。まず自己紹介で、「つい最近世界一周してきました。」

「今は会社を立ち上げて社長をしています」

と語っている先輩を見て、驚きを隠せなかった。現役の東大生と話したことがなかったので改めて「東大」のすごさを思い知らされた。初めのうちは少し緊張してあまり多く話すことができなかったが、先輩方が優しく接してくれたのですぐに打ち解けることができた。

グループに分かれて先輩方の生活や学習などについていろいろと聞くことができた。東大だからと先入観を持っていたが、勉強ばかりではなく、大学生活はとても楽しそうだった。また、日本一の大学でどのような研究などが行われているかに興味を持った。また、大学入試の体験談として高校時代の話聞いた。東大に入るような人だから、勉強ばかりしていたのだろうと思ったが今の私と同じように運動部で、両立させていた先輩が多く、驚いた。高校時代の成績はどうだったのかと聞くと、一桁だったと答える先輩もいれば、一年の最初は二百位くらいだったと答える先輩もいて、人それぞれで今ならば誰にでも目指すチャンスはあるのだと励まされたと思う。進路が決まっていなからとりあえず東大を目指そうといわれ、初めは驚いたが、その考えも良いと思える。

東大生との交流を通して、今まで未知だった東大の生活について知ることができたとし、自分の勉強に対するモチベーションが向上したと思う。

東大見学

二日目にはメインである東大見学へ行った。

さすが日本一の大学とだけあり、他県や外国からの見学者が多いというのが印象的だった。

あの有名な赤門も生で見るとは初めてだった。

建物もレンガ造りなど独特で、まるでテーマパークのようだった。私は理系志望だが時間の問題で法学部の紹介しか見ることができなかったが、大学でどのような授業が行われているかなど知ることができた。残申し込みができず模擬授業を受けることができず残念だった。

この東大見学も、一日目の交流に加えて、勉強のモチベーションアップにつながったと思う。東大の中に入るのは人生で二度とないかもしれないので貴重な経験になった。

全体を通しての感想

今回この企画に参加して、本当にたくさんのことを学ぶことができた。大企業を訪問したり、東大生と対話をしたりと普通では絶対に経験できないようなことばかりだった。高校一年のまだ受験まで余裕のある今だからこそできたことだし、参加して本当によかったと思う。この二日間、有意義な時間を雨後せたので、これからもこの経験を大切にしていきたい。また、勉強に対する姿勢も変わったのでこれからも努力し続けたい。